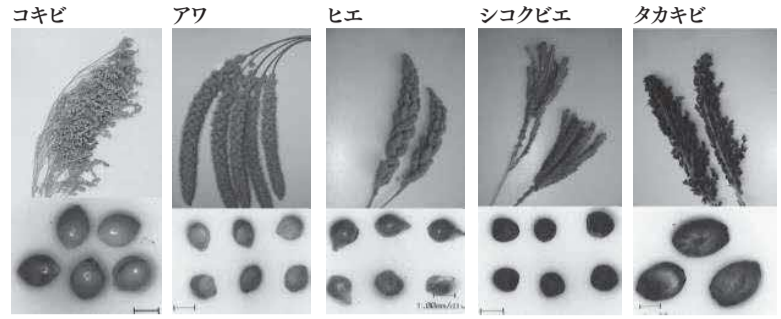


# 雑穀(イネ科小粒雑穀類)

## 1. 生育特性 (播種:6月5日)

系統名	出穂期	成熟期	早長(cm)	穂長(cm)	穂重(g)
コキビ池田系1	8/1	8/28	128.6	33.1	5.6
アワ祖谷系1	8/9	8/30	94.8	22.2	6.9
ヒエ祖谷系	8/11	9/20	111.8	14.8	6.4
シコクビエ祖谷系	8/20	9/28	109.3	13.2	5.9
タカキビ池田系	8/14	9/6	222.6	27.3	6.9

平成9年度徳島農試池田分場(標高205m)



## 2. 特性と栽培適地

キビ(コキビ)・・・干ばつ・酸性に強い。

アワ・・・標高1,300m内外まで栽培可能。穂ずれによる被害が大きい。

☆風当たりが少なく、日当たり、排水良好で、鳥獣害を受けにくい所を選ぶ。

☆連作は避ける。例)アワの場合、2年目で80%、5～6年以降では30%以下に減収するといわれる。

ヒエ・・・干ばつ・多湿にも耐える。倒伏により脱粒しやすい。

タカキビ(モロコシ)・・・アルカリ性にも強い。草丈が長い。

## 3. 施肥方法

### 1)土づくり

1a当り完熟堆肥100kg、苦土石灰8kgを施用し、15cm程度すき込んでおく。

種子が小さいので耕起・整地は丁寧に。

### 2)施肥

全量元肥とする。(ヒエ、シコクビエは窒素控えめ)

追肥をする場合、窒素の半量を出穂25日前までに施用する。

施肥例	内容
例1	BMようりん4kg+NK化成3kg
例2	BMようりん2kg+48化成3kg
例3	BMようりん4kg+硫安2.4kg+塩加0.8kg

## 4. 播種(直まき)

		播種期	播種量g(dL)/1a	畦幅(cm)	まき幅(cm)	株間(cm)	覆土(cm)
播	キビ(コキビ)	6/上中旬	80(1.3)	60内外	10～15	2～3	1.5～2
	アワ	6/上	70(1.2)	60内外	10～15	3	1.5～2
	ヒエ	5/上中	60(1.3)	60内外	10～15	3	1.5～2
種	タカキビ(モロコシ)	5/中～6/上	400(3.6)	60内外	—	15～20	2～3
	シコクビエ(ヤツマタ)	5/中～6/上	60(1.3)	60内外	10～15	5～8	1.0～1.5

・キビでは、まき溝1m当たり播種量0.7～1g。アワ・ヒエはこれより少な目に、タカキビは多めとする。

・覆土後は鎮圧する。覆土の厚さ、鎮圧の強さは土壌の乾燥状態により調節する。ヒエは発芽時の乾燥に特に弱い。

※移植栽培:タカキビ、シコクビエは苗床やセルトレイに播種・育苗し、本葉3～4枚時に定植することもできる。

## 5. 栽培管理

1) 間引き:発芽後10日頃に密植部を間引き、その1週間後に2回目の間引きを行う

2) 中耕・除草:播種後10～60日位の間に2～3回雑草の生育に合わせて実施する。

3) 土寄せ:最後の中耕の際に株元に土寄せを行う。

4) 干ばつ防止:干ばつが予想される時は、表土を軽く中耕し、地表を乾燥させて土壌水分の蒸発を少なくする。

5) 病害虫・鳥獣害防除:早めの対策を心がける。ヨトウムシ、アワノメイガ、黒穂病など。登録農薬を確認する。

鳥害としては、ヤマドリ・ハト・カラス・スズメ・カラヒワなど。播種期の早いものに被害が多い。

防鳥網(目合間隔2cmのもの)等を出穂前から設置する。獣害としては、乳熟期以降イノシシの被害が大きい。

(農研機構・防鳥網の簡易設置法 <http://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/>)

## 6. 収穫・調製

		収穫期	収量目標	収穫の目安等
収	キビ(コキビ)	8/中下	10kg/a	茎葉が黄変し始め、穂先が5分どおり成熟した頃。脱粒し易く適期短い。
	アワ	9/上中	9kg/a	茎葉と穂が黄変し、穂が傾垂したら収穫する。
	ヒエ	9/下	8kg/a	茎葉が黄変し始めたら収穫する。(手で静かに握って脱粒するとき。)
穫	シコクビエ	9/下～10	10kg/a	完熟し脱粒が始まる直前に穂ごと刈り取る。
	タカキビ	8下～9上	30kg/a	穂の7割が黒変したときに収穫し、未熟粒は後熟させる。

・アワ以外のものは完熟すると脱粒しやすいので、適期収穫する。また、収穫は早朝か曇天の日に行う。

・やや早めに刈り取る場合は根元から刈り、数日乾燥させて後熟させる。

・ヒエは、収穫直前に台風が来るとき、根元から風向きに合わせて(風下に向けて)倒すことで脱粒を軽減する。

・根元から刈る場合、根や雑草を付けないようにする。(土砂等の混入)

		調製
乾	キビ(コキビ)	穂首から刈取り、ムシロに広げるか軒下に吊り下げ数日乾燥。 ムシロやシート上で棒で打つ等して脱穀し、その後2～3日乾燥させて貯蔵する。
	アワ	穂のみか上部60cm位を刈取り、屋内に3～4日吊しムシロ上で棒で打つなどして脱穀。 種実が小粒のため土砂と混入すると処置がないので穂のみを扱う。 2～3日乾燥させて貯蔵する。
	ヒエ シコクビエ	穂首から刈取り5～7日ムシロに広げて乾燥する(濡れているときは、根元より刈り穂を上にして乾燥させる)。 棒で打ち脱穀し、選別して2～3日乾燥させて箱や袋で貯蔵する。
	タカキビ(モロコシ)	穂首から刈取り、ムシロに広げるか軒下に吊り下げ1週間位陽乾する。 乾燥は爪で容易に紛状になるまで行う。 脱穀機で脱粒し、唐箕で風選したものを2～3日陽乾して貯蔵する。